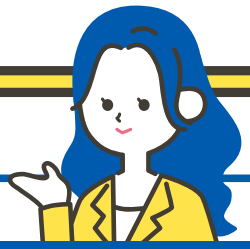
一般勘定

収入決算額	86億2,776万円
支出決算額	84億6,730万円
収入支出差引額	1億6,046万円
経常収入支出差引額	△1億2,292万円

令和7年度 決算報告



令和7年度 収入支出決算概要表

一般勘定

収入

科　目	決算額（千円）
保険料	8,152,206
国庫負担金収入	1,823
調整保険料収入	128,486
別途積立金繰入	200,000
国庫補助金収入	29,741
出産育児交付金	2,402
財政調整事業交付金	57,677
利子収入他	55,426
収入合計	8,627,761
経常収入合計	8,216,181

支出

科　目	決算額（千円）
事務費	166,145
保険給付費	4,181,372
納付金(拠出金)	3,700,634
前期高齢者納付金	1,484,177
後期高齢者支援金	2,216,456
病床転換支援金	1
保健事業費	287,849
還付金	490
財政調整事業拠出金	128,125
連合会費	2,622
雑支出	59
支出合計	8,467,296
経常支出合計	8,339,104

収支

（千円）

収入支出差引額	160,466
経常収支差引額	△122,923

財産状況

科　目	令和6年度末（千円）	令和7年度末（千円）	増減額（千円）
法定準備金	2,670,878	2,670,878	0
別途積立金	8,506,087	8,465,576	△40,511
その他	236,000	236,000	0
合計	11,412,965	11,372,454	△40,511

介護勘定

収入

科　目	決算額（千円）
介護保険収入	1,231,189
繰入金	0
利子収入	755
収入合計	1,231,944

支出

科　目	決算額（千円）
介護納付金	1,061,943
介護保険料還付金	11
支出合計	1,061,954

去る7月23日（木）に開催された第173回組合会で、
当健康保険組合の令和7年度決算が可決承認されました。その概要をご報告します。

決算概要



一般勘定

収入



収入の大部分を占める「保険料収入」は被保険者の皆さんと事業主より納めていただいており、健保組合の主要財源となるものです。令和7年度は予算比で被保険者数は減少したものの、令和6年度に引き続きベースアップによる標準報酬月額および標準賞与額の増加を受け、保険料収入は81億5,221万円で予算比3億5,310万円の増加となりました。また、元本保証の安全性を確保しつつ積極的な財産運用に努め、利子収入は4,361万円で予算比1,424万円の増加となりました。これらの結果、収入総額は86億2,776万円となりました。

支出



保険給付費は皆さんが病気やけがをしたときの医療費等にあてられ、令和7年度は支出全体の49.4%を占める41億8,137万円で予算比3億477万円の減少となりました。納付金（健保組合が国に拠出している高齢者のための医療費）は支出全体の43.7%を占める37億63万円で予算比1,125万円の増加、皆さんの健康づくりをサポートする保健事業費は2億8,785万円で予算比7,496万円の減少となりました。その他の科目についても概ね予算を下回り、支出総額は84億6,730万円で予算比6億7,946万円の減少となりました。

収支差引

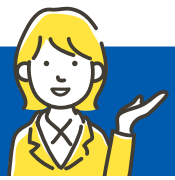


当初予算では8億2,693万円の収支不足を見込んでいましたが、上述の通り大きく収支が改善し、収支差引額は1億6,046万円となりました。なお、これには収支不足を見込んで別途積立金から取り崩した2億円の繰入額が含まれており、その分を除いた実質的な収支差引額は3,954万円のマイナスとなっています。

決算残金である1億6,046万円については、令和8年度の子ども支援金繰越金と財政調整事業繰越金への繰入分を除いた全額を、別途積立金へ繰り入れました。

【健康保険組合財政予測】

法定給付費（医療費）と納付金を合わせた義務的経費は健保組合の支出のなかでも大部分を占めており、令和8年度の健保組合全体の予算では支出全体の92.6%に相当します。当組合の令和7年度決算においても義務的経費は支出全体の91.8%を占め（法定給付費48.1%、納付金43.7%）、そのため健康増進や疾病予防のための保健事業費は3.4%に留まらざるを得ない状況となっています。医療費や納付金はベースアップによる保険料収入の増加を上回る勢いで年々増加しており、多くの健保組合が保険料率の見直しを迫られています。



令和8年度収入支出予算の変更について



既にご案内しております令和8年度収入支出予算につきましては、一事業所の脱退を前提として編成していたところ、脱退時期が延期となったことから、年度途中で予算の変更を行いました。

一般勘定においては、人員増に伴う保険料などの収入増と保険給付費や保健事業費などの支出増により、収入支出予算額は9,093,599千円（当初予算比361,202千円増）、経常収入支出差引額は△737,562千円（同374,183千円増）となりました。

あわせて、子ども勘定においても一般勘定受入額を1,000千円（同800千円増）に見直し、収入支出予算額は208,823千円となりました。なお、介護勘定については変更ありません。